



## 正門のクスノキ

先月まで、正門のクスノキは、勢いを増し、枝をたくさん伸ばしていました。伸ばし過ぎて枝が垂れ、見学旅行の送迎用のバスの天井にいつも枝が当たっていました。そこで、7月末頃に、枝の伐採を行いました。伐採直後のクスノキは、すっきりとしたフォルムを見せてくれるのですが、幹や枝から、すぐに芽吹きが始まります。このクスノキの勢いを裏付けるデータがあります。全国の巨樹ランキングトップテンのうち、何と8本がクスノキなのです。このように、クスノキの力強さは、常緑樹の中でも類をみません。



さて、このクスノキですが、葉を少し揉んで、鼻先に近づけてみると、爽快感のあるよい香りがします。鼻につんとくる印象が線香のそれに通じます。この独特の香りは、私たちの身近な物として昔から重宝してきました。クスノキからは、樟脳(しょうのう)が採取され、防虫剤として用いられてきたのです。

そして、クスノキの葉の裏側をよく観察すると、葉脈の分かれ目にぷっくりとした膨らみがあります。実はこの膨らみの中に、「フシダニ」というダニが棲息しています。虫やダニの仲間は樟脳の匂いは苦手なため、たいていは近づきません。また、なぜ「フシダニ」が近づけるのか、そして共生なのか、はたまた寄生なのかもはっきりとした理由は分からないそうです。

このように身近なものからも不思議なことや感動することがたくさん生まれます。日頃から自然や生き物など自然に関心をもつ目を持ちたいものだと、クスノキが教えてくれました。

※桜門の桜の木も、樹勢が弱まり、倒木の可能性が高かったので数本伐採しました。

## 水曜日課 始まりました!

学校便り52号、71号でお知らせしていたとおり、本日から水曜日課(午前中5時間授業)が始まりました。子供たちや先生方に聞いたところ大きな混乱はなく、予想以上にスムーズな滑り出しだったと思います。ある子供は、校長室に来て「とてもいい日課だと思います。こらからも充実させていきたいです。」と言いに来てくれました。

5時間目が終了すると、給食を食べ、その後はたてわり班活動が行われました。その後、4年生以下は下校し、5・6年生委員会活動が行われました。(右写真)

水曜日は、少しだけ放課後にゆとりが生まれますが、その時間は、子供たちにとっても充実した時間となるように、帯西レドの心をはたらかせて計画的に行動して欲しいと思います。

